



 株式会社fonfun 第14期決算説明会

— Bridge IT and Your life —

～2010年3月期業績概要～

■ 業績ハイライト

1. グループ・事業再編の結果、黒字転換

- 前期のグループ・事業再編、及び当期のエンコード事業からの撤退、オフィス移転などによるコスト削減効果により、黒字転換

2. エンコード事業からの撤退と公式コンテンツの見直し

- エンコードはこれまで安定収益源となっていた事業だが、当期に入り大手顧客からの受注が急減したため事業からの撤退を決定し、事業譲渡を実施。
- 公式コンテンツにおいて収益性が低いものを他社へ譲渡

3. スマートフォン向けコンテンツ提供の開始

- 特に販売が好調な『iPhone』向けに5サイトを提供

■ 業績ハイライト

4. 店頭アフィリエイトが拡大

- 携帯電話販売ショップでのコンテンツ獲得が好調。特に光通信社ネットワーク経由の加入者が増加

5. 光通信社との資本・業務提携

- 合弁会社FunFusionにおいて当期にマーケティング事業を開始
- 「モバイル活用パック」の提供は2010年4月から

6. 特別損失、特別利益の発生

- 持分法適用会社であった『アルティ社』の投資損失が発生
- 事務所移転による固定資産除却損、事業再編による退職給付引当が発生
- 保有株式の売却、事業譲渡による特別利益が発生

業績の概要

単位(百万円)

	連結			
	09/3期	10/3期	期首予想値	達成率
売上高	2,395	1,107	-	-
営業損益	△ 356	68	-	-
経常損益	△ 372	42	-	-
当期純損益	△ 1,680	13	-	-

単位(百万円)

	個別			
	09/3期	10/3期	期首予想値	達成率
売上高	2,078	1,013	1,200	84%
営業損益	△ 194	43	50	86%
経常損益	△ 170	38	50	76%
当期純損益	△ 1,703	8	50	16%

業績の前期比較(連結)

(単位: 百万円)

	09/3期	10/3期	前期比率	要因分析
売上高	2,395	1,107	46.2%	不採算となったエンコード事業の撤退とコンテンツ事業の縮小
売上総利益	1,186	791	66.7%	売上減少に伴う売上総利益の減少(売上総利益率は50% →70%と向上)
販管費	1,542	723	46.9%	人員減、経費節減(オフィス移転等)により販管費減少
営業損益	△356	68	-	上記要因により収益性が改善
経常損益	△372	42	-	同上
当期純損益	△1,680	13	-	事業譲渡益・投資有価証券売却益の計上、持分法会社投資損失、人員削減による特別退職費用計上

■ 事業部門別売上高(連結)

- ・リモートメール事業(前期比微増)
→店頭アフィリエイトが堅調
- ・コンテンツ事業(前期比減)
→収益性の低いコンテンツの見直しを行い一部譲渡
- ・ソリューション事業(前期比大幅減)
→エンコード事業からの撤退(事業譲渡)
- ・マーケティング事業(当期発生)
→光通信社との合弁会社において開始

(単位: 百万円)

	09/3期		10/3期		前年同期比	
	売上金額	構成比	売上金額	構成比	増減額	増減率
リモートメール事業	695	29%	721	65%	26	3.7%
コンテンツ事業	400	17%	235	21%	△165	-41.3%
ソリューション事業	293	12%	36	3%	△257	-87.7%
マーケティング事業	-	-	115	10%	-	-
その他事業	1,007	42%	-	-	-	-
計	2,395	100%	1,107	100%	△1,288	-53.8%

当期実施策(リモートメール事業)

- グループメール機能搭載
- シャープ高機能端末に標準搭載
- IMAPサーバーのフォルダ機能に対応
- 迷惑メールブロック機能追加
- ドコモ・プロスパート・プログラム認定



シャープ端末向けリモートメール画面



グループメール画面



ドコモビジネスオンラインサイト

当期実施策(コンテンツ事業)

- 携帯向けコンテンツリリース(6個)
- iPhone向けコンテンツリリース(5個)

<携帯向けコンテンツ>



『育てる家計簿』



『執事ダイエツ』

<iPhone向けコンテンツ>



『元新年賀2010』



『プリプリまるん』



『鳳雅麻雀』

個別貸借対照表

- ・純資産が1億強増加
- ・自己資本比率が10%弱向上

(単位: 百万円)

	09/3 末		10/3 末		10/3 末	
	単体		単体		連結	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	658	53.2%	589	48.0%	695	52.7%
現預金	304		252		331	
売掛金	285		221		252	
たな卸資産	8		0		0	
その他	60		114		109	
固定資産	579	46.8%	637	52.0%	623	47.3%
有形固定資産	97		56		67	
無形固定資産	244		267		277	
投資その他の資産	238		312		278	
繰延資産	0		0		0	
総資産	1,238	100.0%	1,226	100.0%	1,318	100.0%

(単位: 百万円)

	09/3 末		10/3 末		10/3 末	
	単体		単体		連結	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
負債合計	625	50%	498	41%	552	42%
流動負債	528	43%	410	33%	464	35%
買掛金	26		4		16	
短期借入金	350		328		328	
未払金	73		58		88	
その他	77		19		31	
固定負債	97	8%	88	7%	88	7%
長期借入金	71		80		80	
その他	25		8		8	
純資産合計	613	50%	728	59%	766	58%
資本金	2,191	177%	2,242	183%	2,242	170%
資本剰余金	585	47%	636	52%	636	48%
利益剰余金	△1,987	-161%	△1,979	-161%	△1,971	-150%
自己株式	△172	-14%	△173	-14%	△173	-13%
評価・換算差額等	△4	0%	-		-	
新株予約権	1	0%	1	0%	1	0%
少数株主持分	-		-		30	2%
負債・純資産合計	1,238	100%	1,226	100%	1,318	100%

■ ■ 連結キャッシュフロー

<営業キャッシュ・フロー>

前期に比して2億程度プラスに改善。

税前当期利益の計上30百万円、減価償却費59百万円、売上債権の減少額29百万円等の資金増に対し、未払費用の減少49百万円等の資金減による。

<投資キャッシュ・フロー>

貸付による支出214百万円、無形固定資産の取得による支出47百万円、拘束性預金の増加154百万円等による。

<財務キャッシュ・フロー>

株式発行による収入103百万円、短期借入金の増加17百万円、長期借入による収入20百万円、長期借入金の返済による支出56百万円による。

(単位: 百万円)

	09/3期	10/3期
営業キャッシュ・フロー	△128.0	86.0
投資キャッシュ・フロー	△584.0	△296.0
財務キャッシュ・フロー	148.0	83.0
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1.0	-
現金及び現金同等物の期末残高	304.0	177.0

(単位: 百万円)

	09/3期	10/3期
税金等調整前当期純利益	△1,647.0	30.0
減価償却費	125.0	59.0
売上債権の増減額(△は増加)	372.0	29.0
仕入債務の増減額(△は増加)	△146.0	△10.0
その他	1,178.0	△6.0
小計	△118.0	102.0
利息・配当金受払	△2.0	△9.0
法人税等支払	△8.0	△7.0
営業CF計	△128.0	86.0

～2011年3月期 業績予想～

■ ■ 業界環境

	トピック	予想	当社への影響
キャリア	シムロック解除	シェア構成に変動 共通メールの需要喚起	△ ◎
端末	スマートフォンの登場	新たな商機 ユーザーが分散	○ ×
コンテンツ	ソーシャルアプリの流行	新たな商機 ユーザーが分散	△ ×
マーケティング	店頭アフィリエイトが台頭	CP間の消耗戦	◎

当社の事業ドメインであった公式サイトの優位性が薄まっている。
新しいビジネススキーム、新たな販路開拓が求められている。



ブランド力のあるリモートメールを武器に商品企画・開発に専念し、販売は営業力のあるパートナーに任せる形でのユーザー数増加・収益向上を狙う。

■ 来期の方針

<基本方針>

- ・リモートメールおよび関連事業にて着実に数字を積み上げていく。
- ・光通信社の販路を活用した新商品・サービスの開発・提供を行う。

<事業方針>

リモートメール事業	<ul style="list-style-type: none">・サービス内容改善と安定運用のための設備増強・店頭販促及びデジタルアフィリエイトの促進・関連事業の企画・開発
コンテンツ事業	<ul style="list-style-type: none">・ツール系コンテンツの販路開拓・iPhone、アンドロイド端末向けコンテンツの提供とOEM
マーケティング事業	<ul style="list-style-type: none">・効率・生産性の向上・当該販路を通じた商材の開発

業績予想

新サービスの開始やマーケティング事業の寄与などで売上は伸長するが、
新サービスの戦略的無料期間実施の影響などにより、営業利益は横ばいの見込み

単位(百万円)

	連結				
	08/3月期	09/3月期	10/3月期	11/3月期予想	増減率
売上高	2,917	2,395	1,107	1,300	17%
営業損益	△145	△356	68	60	-12%
経常損益	△157	△372	42	60	43%
当期純損益	△536	△1,680	13	50	285%

■ 事業部門別売上計画

- ・リモートメール事業・・・ 光通信社との提携等により増収見込み
- ・コンテンツ事業・・・ ツール系、スマートフォン向けコンテンツへの特化により大幅減少予定
- ・ソリューション事業・・・ 来期予定なし
- ・マーケティング事業・・・ 通年換算により増収見込み

(単位：百万円)

	08/3月期(連結)	09/3月期(連結)	10/3月期(連結)	11/3月期(予想)	増減率
リモートメール事業	737	695	721	985	36.6%
コンテンツ事業	304	400	234	15	-93.6%
ソリューション事業	348	293	35	-	-
マーケティング事業	-	-	115	300	160.9%
その他事業	1,528	1,007	-	-	-
計	2,917	2,395	1,107	1,300	17.4%

■ ■ 最後に・・・

「 ITを駆使して世界に通用する境界無きビジネスモデルを追求し、
『便利』と『楽しい』をキーワードに時代と顧客のニーズに合致した
革新的なサービスを提供する。」

それが、株式会社fonfunの経営方針です。

この方針に基づく様々なビジネスを通じて、今後も収益の拡大・高品質の
サービス提供を行っていくとともに、株主価値の向上に努めてまいります。

代表取締役社長 三浦浩之

【IR関連窓口】 ir@fonfun.co.jp

経営管理部(佐藤、宮澤)